

牛乳は、いま。

牛乳はいま、たいへんな状況です。

ロシアのウクライナ侵攻や円安など国際情勢による輸入飼料の高騰。それに伴う飼料代の大幅な値上がりや酪農の現場を直撃し、経営環境はかつてないほど厳しく、やむなく廃業に追い込まれる酪農家もいます。こうした状況を受け、昨年から今年にかけて牛乳・乳製品の価格が値上がりしています。酪農家1人1人では乗り越えられない大きな壁があったのです。

牛乳は、いまこそ、飲んでほしい。

そんな中でも品質の高い美味しい牛乳を搾るために日々努力を続けるたくさんの酪農家があります。長崎県諫早市の山口牧場もそのひとつ。餌やりの機械化で作業効率をアップさせ乳牛の世話にかかる時間を増やしました。牛の寝床を常に清潔に保ちながら乳房炎などの病気を防ぎ健康状態をデータやカメラで毎日チェックして九州でトップクラスの質の高い牛乳を搾り続けています。「消費者の方にメッセージを。」という願いをしたら酪農家、山口大貴さんは照れながら酪農への愛情を一言で伝えてくれました。「牛って、ほんとうに、可愛いんですよ」

大変な状況の中、酪農家たちの思いはそれぞれ。でも、願いは同じです。

MILKEEP 牛乳を、まもろう。

